



「選挙よろず相談所」の看板を設置する職員＝県庁で

選挙よろず相談で

どうぞお入りください

選挙関係の質問
丁寧に答えます
県庁内による相談所
来月に予定されている

場所：県庁6階の選挙
管理委員会室。平日の
午前8時半～午後5時
半（正午～午後1時を
除く）。
また、参院選について
の臨時ホームページ（H
P）もこの日設けた。ア
ドレスはhttp://info.p
ref.fukui.jp/senkan
/9sangl.html

参院選挙を前に、県選管
は4日、県庁内に「選挙
よろず相談所」を開設し
た。県選管の職員4人が
常駐し、選挙運動のルー
ルや選挙の仕組みなど選
挙に関する問い合わせに
応じる。

比例終了午前5時目安

県選管、開票計画を発表

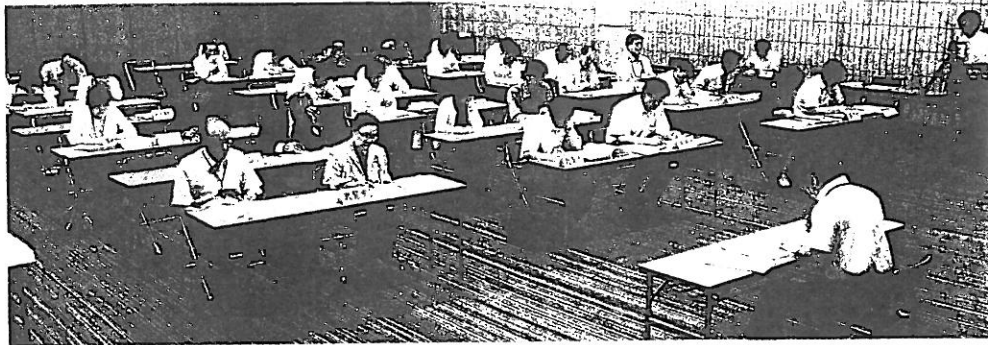
県選管は8日、七月五
日公示、同二十二日投開

票が想定されている参院
選の開票速報計画など
を発表した。前回参院選
の開票状況を踏まえ、選
挙区は午前一時前まで、
比例代表は午前五時前ま
でを目安にできるだけ迅
速に終了したい考え。

九時半から始まる。
開票速報は選挙区が同
九時半から同十時半まで
は三十分おき、以降は二
十分おきに実施する。比
例代表は同十一時から一
時間をこぎに確定した市町
の結果を発表する。

前回は福井市の開票確
定時刻が一番遅く、選挙
区が午前零時五十二分、
永平寺町など三市七町が
午後九時から実施。最も
遅い福井市、坂井市は同
市町選管で、作業の見直
セスできる。

しを行っており、今春の
統一地方選でも迅速化を
図った。前回を目安にで
きるだけ早く開票作業を
進めるようにしたい」と
している。
投票所数は統一地方選
と同数の四百二十二カ所
で、投票時間は基本的に
午前七時から午後八時。
十二市町の五十五カ所は
開票所から遠いため終了
時間を一一二時間早め
る。
県選管は参院選専用ホ
ームページ（HP）を開
設し、随時情報を掲載し
ている。県HPからアク
セスできる。



投票事務のミス防止に向け、チェックリスト作成を徹底した県選管と市町選管の合同会議11日、県庁正庁

投票事務ミス防止を 県市町選管 県庁で合同会議

七月五日公示予定の参院選を前に、県選管と各市町選管は十一日、県庁で選挙事務の合同会議を開いた。今春の知事選・県議選で不在者投票の投かん漏れがあったことを受け、投票事務のミス防止を図るため、チェックリストの作成を徹底。開票事務では、さらなる迅速化を目指すことを確認した。

十七市町の選管委員長、書記長ら約五十人が出席した。県選管の岩田俊一書記長は「今回の参院選から在外投票が比例代表に加え、選挙区でも可能になる。制度改正に対する理解を深め、しっかり管理執行することが重要」とあいさつ。県選管事務局が選挙事務の日程、開票・速報態勢など



を説明した。不在者投票の投かん漏れを受け、投票用紙の一時保管場所が適当かなど、チェック項目のひな形を配布。市町選管に対し、投票事務全般のチェックリスト作成を徹底し、有権者が気軽に投票できる投票所にするため、立会人の席を入り口で監視するような位置にしないことも求めた。十九日午後一時半からは、県庁で立候補予定者説明会が行われる。

6月19日 産経新聞

2007 参院選

参院選に向けて県庁でも増え、発送する書類の数も増加。選管事務局の稲葉明人さん(39)は「市町から報

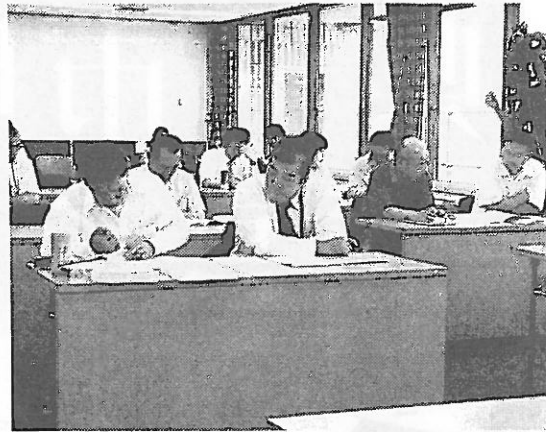
一票ずつ 確実に

投票用紙発送準備 選管

今回、市町に発送されるのは投票用紙や各種調書など計157万5001と話していた。0枚。県の選挙管理委員作業は21日まで行われ、荷造りされた用紙は手作業で荷造り作業を行う予定。



投票用紙などの梱包作業を行う職員＝県庁



選管の説明を聞く各立候補予定者の関係者—県庁で

説明会に3陣営

'07 参院選

福井選挙区

参院選の立候補予定者説明会が19日、県庁で開かれ、福井選挙区（改選数1）から出馬の意向を

表明している、▽自民現職、松村龍二氏(69)▽民主新人、若泉征三氏(61)▽共産新人、山田和雄氏(39)の関係者が出席した。

選挙日程は国会の会期延長の可能性があるため流動的だが、説明会では

7月5日公示、22日投票と仮定して県選管の職員がスケジュールや立候補に必要な手続き、ビラやポスターの制限枚数などについて説明した。届け出書類の事前審査は25日からの予定。

【高橋降輔】

「本人の意思 確認徹底を」

偽造受け県選管 不在者投票説明会

参院選 2007

参院選を前に、県選管は

20日、福祉施設の入所者や入院患者の不在者投票に関する説明会を福井市内で開催した。県内では、4月の福

井市議選を巡り、介護老人保健施設で入所者の不在者投票が偽造される事件があったばかり。出席した福祉施設や病院の担当者約160人に対し、手続き前に本人の投票意思の文書確認を徹底するよう呼びかけた。

不在者投票偽造事件では、施設の入所者に無断で候補者名が記入された。説明会で県選管は、事件を受けて初めて作成したチェックリストを配布。▽自筆の不在者投票の依頼書を保存する▽障害などで依頼書を書けない場合は意思確認の方法を記録する▽意思確認が明確にできない場合は、不在者投票を行わない—などの徹底を要請した。

岩田俊一・県選管書記長は「不正は選挙全体の信頼を損なう。法令に基づいた手続きを徹底してください」と訴えた。

管内市町選管 悲喜こもごも



参院選の投票日が七月二十九日に決まり、当初予定された同二十一日に向けて準備を進めていた県内市町の選挙管理委員会が対応に追われている。広報チラシの廃棄や投票所の変更を迫られる自治体もあり、職員からため息が漏れている。(参院選取材班)

投票日 来月22日→29日

印刷したばかりの広報チラシも「誤植」

福井市選管は、投票 印刷したチラシを約八万 早く国会延長が決ま 日を来月二十二日と印 二千部作成。市政広報 つていけば印刷も変更

ため息の福井、勝山は市議選も変更に

「織り込み済み」余裕の坂井

2007 参院選 ふくい

夏まつり、二十九日に花はす早朝マラソンと町主催のイベントが続き、職員はフル回転を強いられる。「夜中まで祭りの後始末をし

て、また早朝からマラソンの準備に入る職員もいる」と戦々恐々だ。

一方、坂井市選管は余裕

に挟んで、間もなく全戸に配布する予定だった。ところが選挙日程の変更で表記は誤植に。配布元の各公民館に届いていたチラシはそのまま保管し、選挙後に廃棄されることになった。無駄になった印刷費は約二十六万円。職員は「もう少し印刷費は約二十六万円に配布を中止した福井市の広報チラシは福井市大手3丁目の順化公民館で」

「22日投票と記され、配布を中止した福井市の広報チラシは福井市大手3丁目の順化公民館で」

に武生第一、第二中学町では二十八日に河野印刷の必要はない。

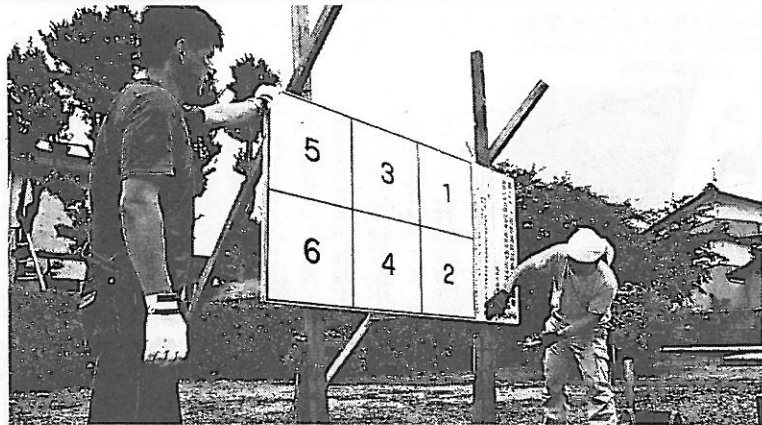
学校の体育館で市民体育大会が予定されたが、急きよ投票所に変更。強いられた勝山市も苦慮している。第一投票所は五月下旬に二十日とされた様子。あわら市も、投票所になってい

校の体育館で市民体育大会が予定されたが、急きよ投票所に変更。強いられた勝山市も苦慮している。第一投票所は五月下旬に二十日とされた様子。あわら市も、投票所になってい

市役所正面玄関に投票箱を置く予定。玄関近所には各課のポスターが張ってあるが、市は「有権者に余計な情報を与えかねない」と当館を「十九日も使えるように押さえた。入場券の印刷も十八日以待ったをかけたため、再印刷の必要はない。」

越前市は、二十九日員を悩ませる。南越前町では二十八日に河野印刷の必要はない。

選挙ポスターの掲示板を設置する作業員＝福井市新開町



掲示板設置始まる 福井

2007 参院選

準備着々

参院選を前に、福井市内で選挙ポスター掲示板の設置作業が21日、始まった。

掲示板は幅1・82メートル、高さ91センチ。樹脂三層構造で、選挙後は畳の材料などにリサイクルされるという。候補者6人分のポスターをはさむことができる。

作業は看板店の作業員らが、本業の合間に交代で行う。この日、同市新開町では、2人の作業員が、打ち込んだくいに2本の柱を針金で固定したあと、平行になるように気を使いながら掲示板をくぎ打ち。一連の作業を手際良く終わらせ、トラックで次の場所に向かった。

同市内では29日までに計691カ所で設置作業が行われる。

投票用紙などが入った段ボール箱をトラックに積み込む県選管職員＝22日、県庁正面玄関前



投票用紙を発送

県選管、市町へ138万枚



七月十二日公示、二十九日投票の参院選を前に、県選挙管理委員会は二十二日、投票用紙などの関係書類を県内十七市町に発送した。書類は選挙人名簿登録証明書や不在者投票調書など計七十五種類、約

百五十七万五千枚で、このうち投票用紙は約百三十八万枚。今回から在外投票が、比例代表に加え選挙区選挙でも可能になったため、調書が四種類増え二十八種類となった。

投票用紙に投票日の日付は入っておらず、予定通りの発送。選挙日程がずれたことで各市町が一週間長く保管する。

この日は、県選管職員二十人が県庁正面玄関前で書類の入った段ボール箱をトラック三台に積み込んだ。発送式で県選管の岩田俊一書記長は「事故のないよう細心の注意を払い、確実に届けてください」とあいさつ。職員がトラックに乗り込み各市町に発送した。

若者に投票を呼び掛けようと学生
サークルが発刊するフリーペーパ
ー「are」の選挙号外



「若者こそ投票行こう！」

学生向け情報誌 号外で呼び掛け

参院選を前に若い人たれる中で、「少しでも政治
ちに政治に関心を持って、選挙を身近なものに感
もらおうと、大学生らが、選挙特集のフリーペーパ
「are」(ア)なけていこう」と号外を
一号外を二十八日、発刊 企画した。
する。県議インタビュー 福井市・足羽都選挙区
や座談会などを通して選 の県議七人には、政治を
挙にアプローチし、「福 志した理由や政策をイン
井の未来を担う若者こ タビュー。
そ、政治に関心を」「棄 学生時代の思い出、休
権はやめよう」と同世代 日の過ごし方なども織り
に呼び掛けている。 込み、政治家に親近感を
フリーペーパーは福井 覚えるような内容にして
大、県立大、仁愛大、仁 いる。
愛短大の学生が参加する 学生による紙面座談会
「ベンチャー研究室ボラ では「候補者の演説会は
ンチ」が出す「are (ア 行きにくい」と本音を漏
レ)」。若者の政治に対 らしながらも、「百年先
する関心の低さが指摘さ を視野に入れた街づくり

県内大学生ら 選挙特集号きょう発刊



をしてほしい」「そのた
めにも投票に行くべき」
と語り合っている。

また「もし政治家にな
つたら」と題し、キャ
ンパス内の学生四十八人
が写真付きで登場して
「公約」を披露。「安心
な年金を「CO2を削減」
といった硬派風のものか
ら「福井を首都に」「サ
ンターボードを和歌山ま
で」などユニークな内容
まで、自由に思いを発表
している。

編集長を務めた県立大
三年の大嶽朋美さんは
「福井の将来を担う若者
の政治に対する関心を高
めることは、福井を元氣
にするために不可欠」と
狙いを話し「号外を讀ん
で選挙をもっと身近に感
じるきっかけになれば」
と期待を寄せている。
タブロイド判、八頁。
県内各大学や福井市内の
飲食店、衣料店などに一
千部配布する。

問い合わせのメールア
ドレスは「are_291@
yahoo.co.jp

'07ふくい参院選



上

朝から坂井市内の投票所を
二方所掛け持ちして回った。
もう日暮れだというのに、目
につくのは中高年の姿はか
り。「こんなんで(福井の)将
来は、大丈夫なのかな」。正
直そう思うほど若者の姿は少
なかった。

四月の統一地方選で、県立
大経済学部三年、大嶽朋美さ
ん(20)は、テレビ局の出口調
査のアルバイトを初体験し
た。なぜその人に投票したの
か、熱く語り出す人。「選択
肢が少なすぎる」と愚痴る人。
さまざま考え方に触れるこ
とができた。だが、同世代の

若者たち



出来上がった選挙号外をチェックする学生サークル「ベンチャー研究室ボランチ」
スタッフ。若者の政治への関心を高めようと知恵を絞る＝6月27日、福井大

年九月の衆院選年齢別投票率
調査によると、二十一～二十四
歳48・33%、二十五～二十九
歳63・03%。四十歳以上八十
歳未満の76・85%台と比べる
と、特に二十代前半の低投票
率が顕著だ。

県内の若者からはこんな声
が聞かれる。「国会中継、政
治ニュースは難しくわかり
にくい」(十九歳、フリータ
ー)、「年金、改憲、自分の
生活に身近じゃないことが
り。興味はわかない」(二十
歳、大学生)、「選挙でだれ
を選んだらいいのか」(二
十三歳、大学生)

声はほとんど聞かれず、若者
に行かなきゃ意味がないの
と政治との距離を実感した。
「選挙権があっても、投票
つために何かできないか。そ
れが政治家になろうと」
と、竹内さんは教師を目指し、
という思いがある」と打ち明
ける。

政治と距離の危機感

県選管がまとめた二〇〇五

「もっと関心を」学生動く

子どもたちの交流事業などに
ボランティアとして参加して
いる。多様な個性を持ち、夢
を語る子どもたちに接すると
「テストの点数だけで評価し
ない、個性を大事にする教育
が必要」と実感する。それを
が顔写真付きで登場。「福井
実現するのが政治の力だとも
思う。だが、「政治とカネ」
問題などを見るにつけ、どこ
まで信用していいのかという
思いもくすぶる。

五月生まれの竹内さんは今
度の参院選から選挙権を持
つ。「一票にどれだけ力があ
るか」。票にどれただけ力感
をめぐえないでいる。
憲法改正手続きを定めた国
民投票法が成立した。投票権
者は原則十八歳以上。三年後
の施行に向け、選挙権年齢や
成年年齢も十八歳に引き下げ
る関係法改正の検討が始まる。
改憲の是非が国民一人一人に
問われ、若者と選挙のかかわ
りも避けられない課題となる。
こうした中、大嶽さんら県
立大生や福井大、仁愛大の学
生らでつくるサークル「ベン

チャー研究室ボランチ」が、
フリーペーパー「are」(ア
レ)の選挙号外を六月下旬
に発行した。
「政治家になったら何がし
たい？」と題し、学生四十八人
が顔写真付きで登場。「福井
を首都に」「公園をいっぱい
つくる」「メガネ着用義務化」
などの「公約」を発表した。
自分たちの目線から、政治と
の距離を縮めようと試みた。
「視点を変えてみたら政治
は面白い」。大嶽さんは明言
する。「受け身では知り得な
いことも、関心を持って近づ
けばいろんな側面を見ることが
できる」。だから、政治に
もっと関心を持つとう。投票に
行こう。号外には強いメッ
セージが込められている。
参院選はその時々「風」で
票が動くといわれる。一方で投
票率は毎回のように低迷し続
けている。年金や格差、改憲、
教育と山積する政治課題に、
若者や無党派層の票はどこへ
流れるか、政界や業界団体はど
う動くのか、風向きを探る。

参院選選挙違反 取締本部を設置

県警本部と14署

十二日公示、二十九日
投開票の参院選を前に、
県警本部と県内十四署は
六日、選挙違反取締本部
を設置した。

県警捜査二課には「参
議院議員通常選挙違反取
締本部」と書かれた看板
が掲げられた。繁田誠本
部長を取締本部長とし、
捜査員千百人体制で違反
取り締まりの徹底を図
る。五日までの違反警告
件数は文書掲示違反が選
計四件。(小島香子)



選挙違反取締本部の
看板を設置する捜査
員＝県警本部で

3陣営、準備整う

きょう公示 17日間の論戦へ

参院選は12日に公示され、29日の投開票に向けて17日間の選挙戦に突入
する。福井選挙区(改選数1)で立候補を表明しているのは、自民現職で
元国土交通副大臣の松村龍二氏(69)、民主新顔で前衆院議員の若泉征三氏
(61)、共産新顔で元三國町議の山田和雄氏(39)の3陣営。公示を翌日に控
えた11日、各陣営は出陣式の準備などに追われた。

参院選

07

松村氏は12日午前9時
から福井市順化1丁目の
フェニックス通りで出陣
式を開く。終了後、嶺南
に向かい、午後0時半か
らは敦賀市中央町2丁目
の同市役所近くでも出陣
式を催す。その後は同

市、越前市、地元の勝山
市で遊説する予定だ。
若泉氏は午前9時から
福井市手寄2丁目の旭公
民館付近で出陣式を開
催。午前中に同市内や鯖
江市などで街頭演説。正
午から越前市で年金をテ

ーマにした集会を開く。
嶺北各地を回り、午後6
時から福井市の中央大通
りで街頭演説をする。
山田氏は、福井市文京
2丁目の党県委員会午
前8時40分から第一声を
上げる。午前中は福井市
内の商店街などで、午後
は地元の坂井市のほか、
あわら市の駅前や大型商
業施設前などで街頭演説
し、夜は坂井市で個人演

説会に臨む。



立候補受け付けのリハーサルで、選挙の七
つ道具を点検する県選管の職員ら＝県庁で

また、11日は、県選挙
管理委員会が立候補届け
出の受け付けに備え、職
員20人が参加して、県庁
地下1階の正庁でリハー
サルをした。職員3人が
立候補を届け出る役とな
り、書類を審査したり、
選挙運動員用の腕章や選
挙事務所の標札など選挙
の七つ道具を候補者に手
渡したりして、作業手順
を確認した。
立候補の届け出は午前
8時半から午後5時ま
で、県庁正庁で受け付け
る。

七つ道具、手に出陣 3氏立候補受け付け

参議院議員選挙が公示された十二日、福井選挙区の立候補者届け出の受け付けが県庁正庁で行われた。出馬を表明していた若泉征三、松村龍二、山田和雄（届け出順）の



三氏が予定通り立候補を届け出た。

会場では受け付け開始から、各陣営の代理人らからの午前八時三十分前か待機。抽選順を決めるた

県選管職員から「選挙の七つ道具」を受け取る代理人＝県庁で

めの予備抽選に続いて、本抽選に臨んだ。届け出順が決まると早速、出陣式の会場で待つ担当者に連絡していた。

代理人らは、届け出順に必要な書類を提出し、書類に不備がないか確認を受けた。届けが正式に受理されると、選挙事務所の標札や運動員の腕章など、選挙の七つ道具を受け取り、各陣営の出陣式会場などへと足早に向かった。

立候補届け出は午後五時まで受け付けられたが三候補以外に届け出はなかった。（福田満津美）

3陣営の舌戦火ぶた

教習車にステッカー

CMにサウルコス選手

フリーペーパーに広告

若者よ投票へ行こう

県選管 照準絞り知恵

参院選の公示を受け県選管は、二十一三十代の投票率アップを狙った啓発活動を開始した。若者らが通う自動車学校の教習車にステッカーを張ってもらったり、Jリーグを目指す「サウルコス福井」のイレブンにCMに起用、若者向けのフリーペーパーに広告を掲載するなど、政治に関心が低い若者の足を、投票所に向かわせようと知恵を絞っている。

参院選はただでさえ他の選挙より投票率が低く、県選管は「全体の投票率を上げるには若年層アップがカギを握る」とみている。

教習車のステッカーは今回が初めての試み。県内十二の自動車学校に協力を求め、二十九日の投票を行います」と話していた。

チーム「サウルコス福井」の選手によるスポットCMも、出版物やテレビ、映画館を活用して展開する。県内の大学生サークル「ベンチャー研究室ポラッチ」が出すフリーペーパー「are(アレ)」には、十八日発行号に選挙のインタビューを掲載。スポットCM(テレビ用十五秒、映画館用六十秒)にも選手が登場し「君の一票で決めよう!」

テッカー(縦十六センチ、横三十センチ)を二百六十枚配布した。北陸自動車学校福井市大士呂町)では十二日から、送迎バスと路上教習車計十四台の左側ドア部、後部に張り付けた。同校に通う福井大三年、西谷恵里香さん(三二)は「ステッカーは、すぐに気付いた。インパクトがあつて投票日がいづか分かるのがいい。投票に行きます」と話していた。

福井の代表」とのメッセージを発信している。このほか、県内の若者で組織する県明るい選挙推進青年活動隊「CEPT(セプト)」もラジオ番組出演を通じて投票を呼びかける。

県選管では「統一地方選が終わったばかりで選挙への関心を高めるチャンス。参院選を身近に感じてもらおうきっかけになれば」と話している。



参院選の投票日を啓発するステッカーが張られた自動車学校の教習車。選挙への若者の関心を高めようと県選管は知恵を絞る。福井市大士呂町の北陸自動車学校

参議院議員通常選挙



県選管がまとめた二〇〇五年九月の衆院選の年齢別投票率調査では、四十一―七十九歳の76―85%に比べ、二十一―二十四歳は48・33%と五割以下。二十五―二十九歳でも63・03%にとどまっていた。



「同世代も政治参加を」

県選管 一日委員久保さんら

参院選で激しい舌戦が展開される中、福井大2年久保亜美さん(20)と県立大保亜友美さん(20)と県立大3年片山紗来さん(20)が13日、県選管の一日委員を務め、3候補の陣営を訪ねてクリーンな選挙運動を要請した。

若者の投票率アップにもつなげようと、県選管が委嘱した。県庁で黒田外来彦・県選管委員長に「明るくクリーンな選挙を訴えて」

と激励された後、3候補の事務所を回り、「選挙は民主主義の基盤をなすもの。きれいな選挙を心掛けてほしい」と要望し、清潔さを表す白バラを手渡した。

2人は県内の学生が発行するフリーペーパーの編集者で、6月下旬には県議の特集を出すなど、若者の政治参加を紙面で呼びかけている。2人にとっても今回の参院選は初めての国政選挙で、久保さんは「同じ世代にどんどん投票を呼びかけたい」と話していた。

県選管によると、前回参院選で、県内の20~24歳の投票率は39・34%(抽出調査)にとどまり、全体の投票率は61・02%を大きく下回った。



各事務所をまわり、公正な選挙活動を要望する久保さん(左)と片山さん=福井市開発町で

7月14日 日刊県民福井

2007 参院選 ふくい

期日前投票スタート

参院選の期日前投票が十三日、市町役場など県

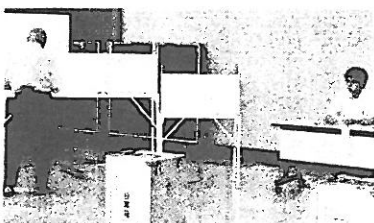
内四十カ所が始まった。各投票所では、貴重な一票を無駄にしないようにと訪れた有権者が、早々と意中の候補や政党への投票を済ませていた。写真。

期日前投票は、投票日当日に所用や仕事などで投票できない人を対象に、投票日前日の二十八日まで行われる。受付時間は原則として午前八時三十分から午後八時まで。

期日前投票は、三年前

の前回参院選から始まり、国政選挙では今回が三回目となる。期日前投票導入前の一般の不在者投票に比べて手続きが大幅に簡素化され、通常の投票と同様の形式で投票できる。

前回の参院選では四万四千九百六票あった。(福田満津美)



期日前投票 初日 937人

県選管発表 前回より261人増



県選管は「期日前投票は前回参院選が国政選挙で初実施だった。制度の周知が順調に進んでいる」と受け止めている。

投票数が最も多かったのは福井市の二百八十二人。次いで坂井市百十八人、越前市九十五人、敦

十三日から始まった参院選の期日前投票について、県選管は十四日、初日の結果を発表した。県全体で九百三十七人が投票し、二〇〇四年の前回参院選に比べ、二百六十一人増えた。(一面に関連記事)



賀市八十三人など。

期日前投票は各市役所、町役場など四十カ所で、投票前日の二十八日まで受け付ける。時間は午前八時半から午後八時まで。

専門学校生を立会人に選任

敦賀市選管

敦賀市選管は、参院選の期日前投票の立会人に地元の専門学校生を選任

し、若者への投票参加を呼び掛けている。同選管は若者の投票率向上が課題として、若い世代への啓発につなげようと、市立看護専門学校を通じて生徒に協力を呼び掛け、新成人を含む二十一三十代の同校生七人が、期日前投票が始まった十三日から二十八日まで立会人の一角を務めることになった。

十四日に立会人を務めた同校二年の山田梨紗さん(〇)は「五月に誕生日を迎え、今回が初の選挙で関

期日前投票の立会人を務める看護専門学校の生徒14日、敦賀市役所

心がある。選挙権を行使することは大切だと思うので友人にも投票を呼び掛けた」と話していた。

県選管が十八日発表した参院選の期日前投票(※①)状況によると、十三日から十七日の五日間で県内七千七百四十八人が投票した。二〇〇四年の前回参院選の同時期と比べ一・六六倍、三千八十一人多くなっている。県選管は、

期日前投票1.6倍



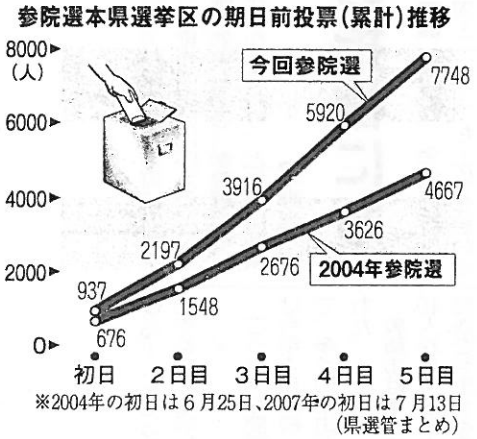
制度が浸透してきたことに加え、投票日が夏休み期間に重なったことが原因と分析。各候補の陣営ではレジャーによる棄権を懸念する半面、逆に無党派層の取り込みや組織票固めに生かそうと期日前投票を呼び掛けている。

こうした中、福井選挙区の三陣営は、期日前投票制度を活用した票の取り込みを進めている。若泉征三候補(民主新人)の陣営は十九日から福井市内の選挙事務所に「誰でも簡単 手ぶらでGO! 期日前投票」との看板を掲げ、事務所前の「旗振り」でもドライブにアピールする。「簡単に投票できる点を訴えて無党派層も取り込みたい(陣営幹部)と狙う。松村龍一候補(自民現職)の陣営も、最重要戦略の一つと位置付ける。選挙はがきの表半分を割り「旅行・買い物・仕事などで都合が悪い方は期日前投票をお願いします」と呼び掛ける。夜の

五日間の状況は、初日が九百三十七人で以後、千二百六十、千七百十九、二千四、千八百二十八となっている。全市町で前回参院選を上回り、最も投票数が多かったのは福井市で二千五百三十四人(九百八十二人増)。次いで坂井市八百九十四人(四百四十一人増)、越前市八百三十一人(四百六十九人増)、敦賀市六百七人(九十二人増)など。

十八日に福井市役所で期日前投票をした女性(五十)は、「二十九日は孫の夏休みに合わせて旅行に出かける」と話すなど、投票所で尋ねた人の多くがレジャーと重なったことを理由に挙げている。一方で、「知人に投票を頼まれており、早く済ませたかった(五十一歳男性)」、「当日は仕事で

前回同期比、開始5日で7748人 県選管 夏休み重なり早めに?



3陣営も呼び掛け

個人演説会でも「毎日が投票日です」と訴え、票固めにつなげる作戦。山田和雄候補(共産新人)の陣営は「制度を活用し、家族も含め一人でも多く投票してほしい」と県内約三万人の党後援会員へ呼び掛け、組織固めに動いている。ただ、期日前投票数の増加については「他の陣営が力を入れたことの流れ」と冷めた見方をしている。

開票作業 職員配置や手順工夫

時間短縮へ選管、腕の見せどころ

選挙の開票時間を少しでも短縮しようとする工夫が県内の各市町に広がっている。短縮は「早く結果を知りたい」という有権者の思いに添えるだけでなく、行政事務能力の指標になり、人件費抑制の効果もある。参院選では、非拘束名簿式の比例代表の開票に膨大な時間がかかっており、どれだけ効果が表れるか注目される。

行政事務能力の指標にも

【平野光芳】



「今回は遅くとも、午前0時半までには確定させる」。あわら市の橋本達也市長は、今月3日の定例記者会見で、こう宣言した。

04年の前回選で同市の開票終了時間は、選挙区が午後11時13分、比例代表が翌日午前3時23分。比例で見ると、武生市（同2時10分）や鯖江市（同2時15分）には1時間以上後れを取った。金津、芦原の2町が合併して新市が発足した直後の選挙で、開票手順に対する考え方が旧町間で異なり、職員が混乱したことも要因とみられる。

橋本市長は「二つの目標に向かって努力することが、高い能力を備えた職員の育成につながる。全国のランキングでも上位を狙わせたい」と話し、▽作業をすべて立って行う▽開票台の高さを上げる▽投票用紙を見失わないよう開票台に黒布をか

ける——ことなどを実施する方針を示した。

× × ×

こういった開票の工夫は今年4月の統一地方選で、多くの市町が取り入れた。

敦賀市は票の点検係を40人から120人に、疑問票を判定する審査係を8人から21人に増員。作業台のレイアウトや開票手順を見直し、各係間の距離も50センチ以上短めて、職員の移動距離を短



県知事選の開票作業を行う敦賀市職員ら（4月8日）

くした。結果的に知事選は前回の2時間25分から1時間38分に、県議選は2時間37分から2時間9分になった。

永平寺町も統一地方選で短時間化、省力化に成功した。卓球台をそのまま流用していた開票台を10センチ高くして、職員の仕事性を確保。1人の職員が複数の係を兼務したほか、票の確認をする立会

人への票の回付を100票単位から500票単位に変更し、票の流れをスムーズにした。

同町は旧3町村が合併して誕生した直後の町長選（06年3月）で、開票に2時間45分かかったが、今年の知事選では1時間38分で終了。町選管事務局は「時間短縮策はもう出尽くした感がある」と胸を張る。

× × ×

今回、比例代表には前回より31人多い、159人が立候補しており、その分だけ開票で氏名を判別する手間が増える。約22万人の有権者を抱える福井市では、政

別。政党名票は、文字を自動的に読み取って仕分けする機械にかけて集計する。個人名票は「あ行」「か行」「さ行」といったグループごとに分けた後、さらに候補者ごとに細分化して集計する。

福井市の前回選では、比例代表票のうち約35％が個人名票。地域や傘下組織ごとに重点候補を設定して投票を呼びかける政党もあり、突出して数が伸びる特定個人票が出てくる。そのため伸びそうな個人をある程度想定して、職員配置を考えるのが効率化に直結するといひ、選管の腕の見せどころにもなりそう。

党名票と個人名票を分

参院選 07がくい

選挙公報を発送 27日までに配布

県選管

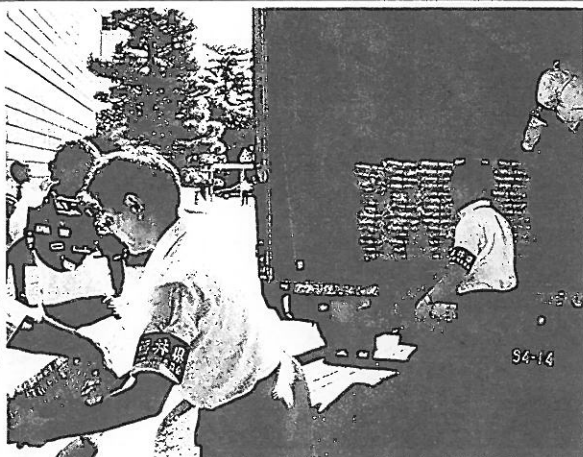
県選挙管理委員会は十九日、参院選の選挙公報と投票所内に掲示する比例代表用の氏名表を各市町選管に発送した。

選挙公報は、福井選挙区用と比例代表用の二種類。それぞれ約二十九万六千部を刷り、各市町選管から自治会長らを通じて、投票日二日前の二十七日までに県内の全世帯に配布する。

氏名表は、期日前投票用に百八十枚、当日用に千四十四枚を配布。各投

票所に掲示し、有権者が投票できる候補者または政党を伝える。腕章を着けた県選管の職員が、梱包（こんぼう）した公報や氏名表をトラック四台に積み、送

（参院選取材班）



選挙公報をトラックに積み県選管管理委員会の職員ら県庁前で

29日は投票へ

県選管「めいすいくん」

福井の商業施設で啓発活動

2007 参院選

参院選投票日（29日）を前に、県選挙管理委員会は21日、福井市の大型ショッピングセンターなどで街頭啓発を行った。明るい選挙推進のキャラクター「めいすいくん」が登場し、若いカップルらに投票を呼びかけた。近年は若い世代の投票

率低下が目立っており、県選管はこの日、親子連れが多いエンゼルランドふくい（坂井市春江町）のほか、福井市内のエルパ、ベルなどのショッピングセンターといった若者が多く集まる場所で啓発活動を行った。

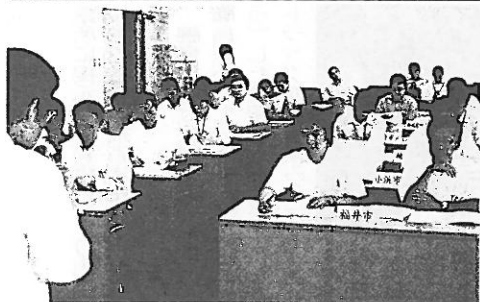


風船のほか、大学生グループがつくるフリーペーパー「are（アール）」、うちわにもなる円形の啓発チラシなど計2000セットを配布。areでは、見開きで選挙特集を組み、Jリーグ昇格を目指すサッカーチーム「サウルコス福井」のメンバーが選挙への関心をアピールしている。エルパでは午後3時半から啓発開始。めいすいくんが店内を歩いた後、店の出入り口で子供連れに風船などを配布した。

マスケットのめいすいくんが投票を呼びかけた選挙の啓発運動。福井市のショッピングセンター「エルパ」

2007 参院選 ふくい

投開票速報体制 手順などを確認
 県と17市町選管
 参院選の投・開票日を前に、県と県内十七市町の選挙管理委員会は二十三日、県庁で、市町投・開票速報事務打ち合わせ会議を開いた。各市町の選挙職員ら約四十人が出席し、県選管への投開票速報の報告体制や手順などを確認した。



投開票結果の報告手順などを確認する選管職員＝県庁で
 (清兼千鶴)

い」と正確で迅速な開票 要請。続いて担当職員事務の徹底をあらためて、選挙区と比例代表の投票結果をオンラインで報告する際の注意点を、トラブルが発生した場合の対応について説明したほか、報告時間の厳守なども求めた。

ポスター破られる

勝山市と南越前町で

勝山市と南越前町のいそれぞれ調べている。県道沿いなどで、特定の政党や参院選候補者のポスターが破られていたことが分かり、勝山、越前両署は公選法違反(選挙の自由妨害)の疑いがある。勝山市内では二十三日午前、掲示場を点検していた業者が、参院選福井選挙区の候補者ポスターの破損を見つけた。市選

管と勝山署が見回り、県道や市道沿いの七カ所で破損を確認した。破られたポスターの候補者に偏りはない。南越前町では協本から今庄の国道365号沿いなどで、十数枚の特定の政党ポスターが破られ、掲示板が切り倒されるなどしていた。越前署は

十八日夜から十九日朝にかけて、何者かが集中的に破損させたかと思われる。また同町では官地に無許可で政党ポスターが設置されていたケースがあり、町選管が二十四日までに関係者に撤去を指示した。



開票速報の作業確認

県選管 木番向けりハ一サル

二十九日の参院選開票に向けて、県選管は二十七日、県庁で投開票速報のりハ一サルを行った。県内十七市町から電子メールで送られてくる開票結果の受信手順や発表までの時間などを確認した。特に選挙区の間開票結果は電子メールだけ集計速報会場となる県庁六階の会議室に、パソコン十台を接続し、電話十二台を設置。当日の作業を担当する県選管職員二十七人が参加した。

各町から送られてきた最終集計結果のチェックを併進しながら、問題がなければ電子メールでの送信を要請した。結果を一覧表にまとめた。特に選挙区の間開票結果は電子メールだけ集計速報会場となる県庁六階の会議室に、パソコン十台を接続し、電話十二台を設置。当日の作業を担当する県選管職員二十七人が参加した。

開票は選挙区、比例代表の順で行われる。県選管は選挙区の間開票結果を午後九時半から三十分間隔で発表。同十時半以降は二十分間隔。県のホームページに掲載する。アドレスはhttp://info.pref.fukui.jp/senkan/19sa.html

以降は二十分間隔。県のホームページに掲載する。アドレスはhttp://info.pref.fukui.jp/senkan/19sa.html

3候補 きょう県民審判

大勢判明 深夜にも

年金記録の不備問題や政治とカネの問題などに対する県内有権者の審判は、いかに。参院選は十七日間の選挙戦を終え、二十九日に投票、即日開票される。自民、民主、共産の公認三候補による争いとなった福井選挙区(改選数)は、接戦が予想されるが、深夜から未明にかけて大勢が判明する見通し。
(参院選取材班)

各投票所準備入念に

投票は、県内四百二十一カ所と勝山市内の一カ所二カ所原則、午前七時から二時間、その他は一時から午後八時まで行われる。福井市はじめ十二市の五十五カ所では終了時間を繰り上げる。繰り上げ時間は大野市内の四九時三十分には作業を開始する。開票は十市町で午後九時から始まり、最も遅い後十一時から一時間ごとに、その段階までに確定した市町の結果を発表。二〇〇四年七月の前回参院選では、全市町で全票確定したのは、選挙区が



投票箱を設置する職員、福井市役所で

始める。県選挙管理委員会福井選挙区の開票状況については、午後九時三十分から午後十時三十分までは三十分ごとに、それ以降は二十分ごとに速報する。比例代表は午後十一時から一時間ごとに、その段階までに確定した市町の結果を発表。二〇〇四年七月の前回参院選では、全市町で全票確定したのは、選挙区が

投票日翌日の午前零時五十二分、比例代表は同午四時五十分だった。二十八日は、各市町の投票所で市町職員が投票所を設置、福井市の第一投票所となる福井市役所では、職員六人が一階入り口近くに投票方法や比例代表の政党別候補者一覧を示した表を掲示したり記載台や投票箱を置いていた。県内の選挙人名簿登録者数(十一日現在)は六十六万九百三十六人。今回から同選挙区への投票は、投票は二十八日午後八時で締め切られた。過去の主な選挙の同時

人名簿登録者数(十二日)は、三百三十五人と

期日前投票は3年前の1.5倍

県選管発表

県選挙管理委員会は二十八日、参院選の二十七

期と比べても今年四月の知事選の一・七七倍、二〇〇五年九月の衆院選の一・三七倍と、大きく上回っている。

内訳は、市部が四万四千八百一人、町部が二万五千五百五十七人、福井市(二万五千七百六十六人)、坂井市(六千四百二十七人)、越前市(四千八百三十七人)の順で続いた。

治に参加できる最も重要な機会でもあります。有権者におかれては、自由な意思と判断によって日本の将来を託すに当たって、候補者あるいは政党などに、一票を投じていただくことを切望いたします。

投票事務に従事する市町選管には、厳正かつ公平を旨に、細心の注意を払い執行に当たるところをお願いいたします。

選挙管理委員長が談話
県選挙管理委員会の黒田外来委員長は、二十九日の参院選投票日に向けて、次のような談話を発表した。
今回の選挙は、私たちの暮らしや国の政治の行方を決める上で重要な意義を持っています。選挙は民主政治の基本を成すもので、国民が政

県内投票率63.25%

2・23選上昇 国政へ関心反映

県選管が発表した福井選挙区の最終投票率は63.25%で、前回の61.02%より2.23%上昇した。生活に身近な年金記録不備や政治とカネをめぐる問題などの争点をはじめ、自民対民主の激戦の様相が陣営の組織引き締めや

無党派層の関心度アップにつながり、一定の影響を与えたとみられる。ただ、本紙が公示後に行った世論調査では、八割以上が「関心がある」と回答。前回参院選時の調査を16%も上回った。また、二十代の若い層で

も六割を超えるなど、有権者の関心は高かったとみられた。事前調査の数字から想定されるほどの大幅アップにはつながらなかった。今回は統一地方選と重なり低投票率になりがちな「多年」の参院選。さらには夏休み真っただ

中ということもブレイクとなつたようだ。当日の投票率は前回は1.2%程度下回るペースで推移。前回より大きな伸びはした期日前投票率が全体を押し上げた。

市町別で投票率が高かったのは、おおい町73.26%、南越前町72.36%、若狭町71.51%、池田町71.07%など。市では勝山市が70.00%で最も高かった。逆に低かったのは福井市59.75%、敦賀市60.58%、鯖江市61.24%だった。

期日前投票1割超

本県初 最多の7万1015人

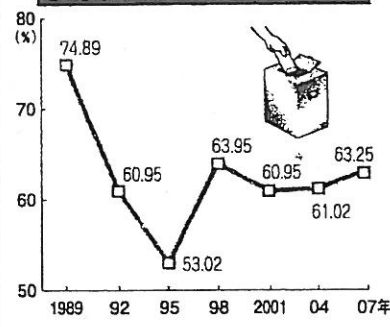
県選管は二十九日、参院選の期日前投票者数を発表。投票票当日現票の十八日だけで一万五千六百五十七人が投票し、期間中の総計は七万一千五百九十九人で、期日前投票者の占める割合は10.82%。なかでも若狭町は25.96%最多だった。二〇〇五年九月衆院選の五万五千百八十九人を一万五千人以上上回った。

県内の過去の選挙で期日前投票を利用した人は、夏休み期間中の日曜日で、特に前倒して投票する人が多かったとも考えられる。としている。

今年の知事選が7.09%、〇四年参院選が6.85%だった。市町別の総計は、福井市が一万九千八百一人で最多。次いで坂井市が八千二百九十二人だった。

県選管では「制度が浸透しつつあるといえるが、夏休み期間中の日曜日で、特に前倒して投票する人が多かったとも考えられる」としている。

参院選 福井選挙区の投票率推移



つたのは、おおい町73.26%、南越前町72.36%、若狭町71.51%、池田町71.07%など。市では勝山市が70.00%で最も高かった。逆に低かったのは福井市59.75%、敦賀市60.58%、鯖江市61.24%だった。

比例代表投票率は前回比2.24%増の63.24%